

令和 3 年度

「運営に関する計画」

大阪市立 十三中学校

令和 3 年 4 月

(様式 1)

大阪市立十三中学校 令和 3 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

全国学力・学習状況調査（以下、「学力調査」と表す）やチャレンジテストにおいて、本校の各項目平均正答率は大阪府・市の平均にも及ばず、学力の向上が長年の課題である。また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査（以下、「体力調査」と表す）においても、部活動や学校行事などを通した各種の取組により全国平均を上回る種目も一部出てきてはいるが、継続してさらなる伸長を図る必要がある。一方、これまででも安心・安全宣言を掲げ、信頼される学校づくりに取り組んできたが、いじめや暴力行為等が断続的に発生しており、学級内や学年での生徒同士の人間関係を客観的に把握する必要がある。そこで、「hyper-QU」テストなどを用いて集団の特性を確認しながら、効果的な道徳心・社会性の成長を促す取組を進めていかなければならない。

中期目標

子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

- 令和 3 年度の学力調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を、9割 5 分以上にする。

心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

- 令和 3 年度の学力調査における活用に関する問題の正答率 8割以上の生徒の割合を、平成 30 年度より 5 ポイント向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

全市共通目標

- 令和 3 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 令和 3 年度の校内調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 95%以上にする。
- 令和 3 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 令和 3 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

- 今年度末の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を年度当初よりも増加させる。
- 今年度末の校内調査における「校内で暴力を受けたことがありますか」の項目について、総数を 5 件以内に抑える。

- 校内調査における「学級生活満足群」の割合を50%以上にする。

心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

全市共通目標

- 令和3年度のチャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 令和3年度のチャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。
- 令和3年度のチャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。
- 令和3年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 令和3年度の体力調査において、特に課題である「50m走」の平均の記録を、前年度より向上させる。〔令和2年度 男子 7.85 女子 8.81〕

学校の年度目標

- 中学校3年生での英検3・4級程度の英語力を有する生徒の割合を昨年度以上にする。
〔令和2年度 3級 65.15% 4級 54.5〕
- 令和3年度の体力調査における体力合計点を過去3年間の推移において向上させる。
〔令和2年度 男子 39.79 女子 48.89, 令和2年度 男子 44.42 女子 50.22〕

以下 淀川区役所連携事項

- 学力調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を、それぞれ75%以上、90%以上にする。
- 年度末校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を、それぞれ65%以上、85%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

年度末に記述

(様式 2)

大阪市立十三中学校 令和 3 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現	
<p>全市共通目標</p> <p>○令和 3 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする。〔2 年度 100% 認知 1 年 1、2 年 1、3 年 0〕</p> <p>○令和 3 年度の校内調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 95% 以上にする。〔2 年度 98.2%〕</p> <p>○令和 3 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。〔2 年度 0%〕</p> <p>○令和 3 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。〔2 年度 1.4% = 7 名 (1 年 2 名、2 年 3 名、3 年 2 名)〕</p>	
<p>学校の年度目標</p> <p>○今年度末の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を年度当初よりも増加させる。〔2 年度 86.6%〕</p> <p>○今年度末校内調査における「校内で暴力を受けたことがありますか」の項目について総数を 20 件以内に抑える。〔2 年度 4 件〕</p> <p>○校内調査における「学級生活満足群」（学級内での生活に十分満足している生徒）の割合を 40% 以上にする。（全国平均 37%）〔2 年 1 年 47%、2 年 63%、3 年 53%〕</p>	
心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上	
<p>全市共通目標</p> <p>○令和 3 年度のチャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>〔74 期生（現 3 年）： 元年度 92.0、2 年度 95.7〕</p> <p>〔75 期生（現 2 年）： 2 年度 90.0、※2 教科（市）100.0〕</p> <p>○令和 3 年度のチャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。</p> <p>〔74 期生（現 3 年）： 元年度 28.1、2 年度 27.7〕</p> <p>〔75 期生（現 2 年）： 2 年度 25.8〕</p> <p>○令和 3 年度のチャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。</p> <p>〔元年度 27.1、2 年度 中止〕</p>	

〔74期生（現3年）：元年度 19.7、2年度 25.8〕

〔75期生（現2年）：2年度 19.9〕

○令和3年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。〔2年度 82.6%〕

○令和3年度の体力調査において、特に課題である「50m走」の平均の記録を、前年度より向上させる。

〔2年度 男子 7.85 女子 8.81（秒）〕

学校の年度目標

○中学校3年生での英検3・4級程度の英語力を有する生徒の割合を昨年度以上にする。〔元年度 89.9%→2年度 中止〕

○令和3年度の体力調査における体力合計点(T得点)を過去3年間の推移において向上させる。〔元年度 男子 39.79 女子 48.89、元年度 男子 44.42 女子 50.22〕

以下 淀川区役所連携事項

○学力調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を、それぞれ75%以上、90%以上にする。〔中止〕

○年度末校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を、それぞれ65%以上、85%以上にする。〔2年度 寝ている 85.8%、起きている 91.0%〕

○中学校1年生での漢検において、各級受験生の合格率及び5級以上の合格者数を昨年の1年生より向上させる。〔2年度 39.6%及び60名〕

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策6 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>○生徒の安全を確保するとともに、各種の運動用具・運動器具を導入し、体育大会をはじめ各種の学校行事に、室内オリンピックなどの楽しみながら体力向上をめざすことができる取組を積極的に取り入れる。</p>	
<p>指標</p> <p>体力調査において、全国平均を上回る種目を半分以上にする。</p> <p>〔2年度 男子7種目（上体起こし以外）、女子2種目（握力、上体起こし）〕 ○</p>	
<p>取組内容②【施策6 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>○部活動の時間が制約される中、日常的な運動の機会を減少させることなく、基礎的な体力や運動能力の向上をめざす。</p>	

<p>指標 部活動における退部者を 5%以内に抑える。 〔2年度 2% = 12 / 443名〕 ○</p>	
<p>取組内容③【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】 ○区役所の「子どもの睡眠習慣改善支援事業（ヨドネル）」とも連携を図りながら、遅刻を減らすよう日常的な生徒指導を継続して基本的生活習慣の確立をめざす。</p>	
<p>指標 ・遅刻の年間のべ総数を前年度以下に抑える。 〔2年度 1月末総数 2,038 日〕 ・遅刻が年間 20 日以上の生徒の数を前年度以下に抑える。 〔2年度 2月末 30 人〕</p>	
<p>取組内容④【施策 7 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 ○小中連携図書貸し出し事業の実施 ○「読み聞かせ」の実施 ○図書室開館と自主学習センター機能の充実 (以上元気アップ事業と連携) ○淀川区学力向上支援事業「漢字名人育成計画」を活用し、中学校 1 年生を対象に漢字能力検定受験に向けて目標を明確にし、計画的に学習に取り組むことで学習意欲を高め、着実な学力向上に努める。(区役所と連携)</p>	
<p>指標 ・校内調査（年度末）において「読書は好きではありません」と回答する生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。 〔74期生（現3年）： 元年度 37%、2年度 31.2%〕 〔75期生（現2年）： 2年度 31.5%〕 ・漢字能力検定受検に向けた漢字の演習問題を 3 回行う。</p>	
<p>取組内容⑤【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○学びサポーター等を活用し、朝学習・朝読書・テスト前補習・長期休業中の家庭学習 等を充実させる。</p>	
<p>指標 令和 3 年度のチャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 〔74期生（現3年）： 元年度 92.0、2年度 95.7〕 〔75期生（現2年）： 2年度 90.0、※2教科（市）100.0〕</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>○「hyper-QU テスト」(もしくは校内調査)を実施することにより、学級内の人間関係を精査した上で、面談や家庭訪問、その他、教員が生徒と触れ合う時間を確保し、効果的にいじめの予防、早期発見、早期対応を行う。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査において、いじめの申告の総数を5件以内に抑える。</p> <p>〔2年度 5件〕</p>	
<p>取組内容②【施策3 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○保護者・地域とのコミュニケーションの機会を充実させるとともに、物事に感動したり、他者を思いやることの大切さを実感する場面を創出する。</p>	
<p>指標</p> <p>学校管理下における生徒と保護者・地域ボランティアとの直接交流の場を、のべ50回確保する。</p> <p>〔2年度 78回 (うち放課後図書室開館 70回)〕</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	